

（別紙２の２）

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【令和７年度評価】

法人名：医療法人　松尾会
事業所名（事業所番号）：グループホームまつの実
所在地：福島県いわき市平字愛谷町４丁目２-３
代表者：松尾　直人
管理者：猪狩　光雄
運営推進会議を活用した事業所の評価日：　R８年３月１９日

出席者：施設職員：猪狩光雄　石井恵美子　坂本修司
利用者家族：中野秀之様　牛田雅彦様（欠席）　平地域包括支援センター職員　半谷亜希子様　民生委員　木本麗子様

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A).充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は、ホーム内の見える所に掲示し職員は日常的に目にすることが出来る。又、ミーティング時に理念の共有を意識化している。			職員・利用者様・ご家族様・来訪者様がホーム理念を共有できるように玄関ホールに掲示されている。定期的に職員全員の道しるべとなるように話し合いも設けられている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B).ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域活動として地区長へ事前に相談し公民館を借用し、行事や研修等に活用している。また、近隣の保育園児との交流会を実施し地域交流・世代間交流の機会を設けている。	地域の一員であるために町内会に入られ町内活動に参加する努力をされている。近隣の保育所と交流され世代間の交流もされている。		地域活動として地区長と連携を保ち公民館を使用させていただき行事や研修棟で地域交流に努められるようにしている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(A).充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	２カ月に１回の割合で定期開催し、ご家族・民生委員・地域包括支援センター職員等に参加して頂いている。状況に応じ、利用者様も参加している。	職員、ご家族様、利用者様、地域包括、民生委員も参加され定期的に開催され意見交換をされている。		利用様も参加され一員となり交流を楽しめるようにしている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B).ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営に関する質問があれば電話もしくは窓口に出向き相談をしており、日常的には市からのメールやインターネットを通じて情報収集している。	保険者である市町村と意見交換できるように出向いたり電話連絡をし情報収集をされている。		険者である市町村へ出向くきっかけを作り意見交換を心掛けている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A).充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束虐待防止委員会を設置し定期的に施設内研修を行っている。特に、「スピーチロック」の廃止には注力している。		(A).充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束はしないことを原則に運営している。定期的に職員研修を実施し共有できるようにしている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し定期的な内部研修を開催。また、年2回、虐待の芽チェックリストを用いた自己点検を実施しその結果もフィードバックしている。	虐待防止委員会を設置し定期的な意見交換や研修を実施し防止に努められている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員間が中心となり定期的な研修を実施し職員間で確認しあえる場面を設けている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修を通じて権利擁護に関して制度の理解を深めている。			現在、1名後見人制度を利用できるように申請している。同時に事例を通して権利擁護に関する知識を各職員が学べるようにしている。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居までに重要事項や契約内容については書類を基に十分な時間を設けて説明を行い、質問等にも随時対応。その上で契約締結を行っている。			入居前に契約書、重要事項説明書にて契約内容や事業所の特色を理解した上でご入居して頂くようにしている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からあがった要望等は必ず管理者が把握し、フロア内で共有・検討。ご家族とは来所時・電話連絡時のコミュニケーションを密に、ご意見等に対する対応は速やかに対処している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限りご本人・ご家族様が納得した生活を営めるようにコミュニケーションを密にして意見反映に努めている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的にコミュニケーションの機会を設けるとともに、定期面談やフロアミーティングの場で職員の意見を聞き、柔軟な対応に心掛けている（場合によっては役職者会議で共有）			フロアミーティングを定期的に開催し意見交換しチームワークを大切にし意見の共有に努めている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が働きやすい環境作りを努力している。法人事業部と連携を図り自己評価に基いた公正な人事評価を実施。個々の事情に応じた働きやすい環境は法人と随時協議検討し対応。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人事業部と連携を図り自己評価に基づいた公正な人事評価を実施。各自が向上心を持って勤務できるよう働きかけている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修は年間スケジュールに基づいて定期的に行っており、加えて経験や能力に合わせた外部研修の受講などを適宜実施している。	年間研修計画を作成し各職員のスキルアップに努められている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修計画に基づいた研修を実施されている。経験や能力に合わせた外部研修の受講などを適宜実施している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業者と密に交流し介護保険制度などの情報を交換しており、サービスの向上に努められるようにしている。			感染症対策もあり積極的に訪問することは困難ですが電話、外部との連携は取れるように電話連絡等をしてサービス向上に努められるようにしている。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の性格や生活歴、現在の心身の状況などを考慮に入れながら、生活の主体者として生活場面への参加や選択や決定いった意思の尊重を大切にしている。			生活の主体者として生活場面への参加や選択や決定いった意思の尊重を大切にし支えあって生活できるよう支援している。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様からの電話やお手紙を利用者様に取りつなぎ関係性を保てるように働きかけている。	馴染みの関係性が途切れないように、ご本人ご家族様とコミュニケーションを密にとり支援されています。		これまでの関係性を大切にし、途切れないように継続して生活できるよう働きかけている
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の性格や生活歴を重視。家族からの情報も最大限に生かしながら、本人が望む暮らしの実現に取り組んでいる。			利用者様、ご家族様とのコミュニケーションを密にとる事でご本人様、満足生活を支援できるようにしている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様やご家族様の想いに沿ったサービス計画が作れるよう密なコミュニケーションや生活状況の観察から得た情報を生かした計画作成を行っている。	モニタリング結果を全職員で共有し介護計画に反映できるようにしている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、ご家族様の意見に沿った生活を営めるように関わる人全員で情報を共有し介護計画を立てるように心がけている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の介護記録や申し送り等により各利用者様に関する情報の共有には注力している。また、状況変化に対する柔軟な対応に心掛けている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりの様子を個別記録や申し送りで把握する事で実践への反映が出来るようにしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様、ご家族様のニーズに応じた対応を臨機応変に実施し良質なサービスにつなげられるように努めている。また医療法人との連携体制を整え健康管理に努めている。	運営母体の医療法人との連携体制を整え健康管理に努め安心した生活を営んでもらう事が強みと考えています。		特に法人母体が医療機関になっていますので医療との連携が強みと捉えています
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣組に加入し、活動に参加し、地域交流に努めている。また、近隣の保育園児が散歩でホーム前を通る際、声を掛けて下さった理など、交流がある。	隣組に加入し回覧板のやり取りや自治体への参加を心掛け交流できるようにしています。近隣の幼稚園児が散布しながら窓越しにご挨拶を交わしたりされています。		近隣の幼稚園児が散歩時に立ち寄って窓越しで挨拶を交わしたりされています。各利用者様もとても楽しみにされています。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週１回法人の主治医が来所して診療を実施。２４時間３６５日、医療面でのサポートが得られるよう、病院の外来・病棟・担当医らとの連携体制を整備している。			法人が医療機関であり医療的連携が密であり案して生活できるようにサポートされ医師がホームドクター的な存在になり24時間対応で安心してお過ごし頂いています。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様が入院した際は、入院当初から担当医はじめ病院の地域連携部門などと情報の共有が図られるよう連絡を密に取るようにしている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人が医療機関との連携が密にとれ状況にあったサポート体制が整っています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重度化や終末期に向けた指針を共有し、医師との連携の下、早い段階から話し合いを持っている。又、定期的に終末期に関する意思確認を書面にて取り付けている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居時から重度化や終末期に向けた話し合いを設けています。状況に応じ随時、話し合いを設けご支援していきたいと思います。母体が医療機関であることは強みになります。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時マニュアルに沿って対応できるようにしている。ホーム内の看護師と法人医療機関と協力を得て助言指導が受けられる体制をとっている。			緊急時マニュアルに沿って、法人医療機関と協力を得て助言指導が受けられる体制をとっています。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な避難訓練に加えＢＣＰに基づく避難誘導などの学びを深めている。　また備蓄製品の点検・在庫管理を実施している。	研修計画に沿って避難訓練や研修を定期的に実施されている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員が災害対策の重要性を認識できるように定期的に訓練、研修を計画的に実施している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の居室は、それぞれの「自宅」であるという認識の下、プライベートな空間の出入りなどには注意を払っている、また、一人の人間・人生の先輩として尊重した言葉遣いが徹底できるよう全体で意識している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人ひとりのプライバシーを大切に関われるように心がけ大切にしています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	決まった時間、決まった方法で横並び、一律のケアをするのではなく、利用者個々の生活ペース、その時の意向を尊重しながら時間や方法など柔軟に変更しながら対応している。			一人ひとりのその時の意向を尊重しながら時間や方法など柔軟に変更しながら対応できるようにしている。

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	給食委員が中心となり、手作りおやつやリクエスト食などの「食の楽しみ」に着目した取り組みを実施。また、日常的に食器洗いや食器拭きなどの家事への参加もしていただいている		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者様が参加できるように声掛けし参加励行しています。一人ひとりの好みも把握し食の楽しみが出来るようにリクエスト食を設けるようにしています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・水分摂取量は個別に管理し、日々の摂取状況に応じ、提供する食品等の変更も柔軟に行っている。			食事・水分摂取量は個別に管理し、摂取状況に応じ、提供する食品等の変更も柔軟に対応できるように心がけている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回、食後に口腔ケアを実施している。また定期的に歯科衛生士による口腔チェックや助言を受けており、日々のケアに活かしている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを実施できるように、定期的に歯科衛生士による口腔チェックや助言を受ける体制を整えている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の状況は、個々の排泄表にて管理し、適宜医師や看護職と連携しながら便秘予防などに取り組んでいる。尿・便意がない方でも日中はトイレ誘導を試みるなどの取り組みも行っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排せつ管理表にて排せつ間隔等を把握し、日中は出来る限りトイレ誘導し排せつして頂くようにしている。医師との連携を密にし便秘予防に努めている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週２回以上は入浴できるように管理。利用者の想いを尊重しつつ入浴を促している。個々の体調を考慮し入浴予定日の変更も柔軟に対応している。			各利用者様の状況に応じた入浴を計画的に柔軟性をもって提供されている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	１人１人のペースや夜間の入眠状況を把握しながら、本人の意向を尊重し休息できるよう支援している。夜間の不眠・不穏時は落ち着くまで寄り添う事を心掛けている。			本人の意向を尊重し休息できるよう支援している。夜間不眠時には寄り添いながら支援している。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子カルテにより診療記録や処方内容が確認できる。また、利用者個々の薬剤情報もファイルでいつでも閲覧できるようにしてある。必要時は、医師や薬剤師に照会できる体制もある。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師・薬剤師と連携を取り安全な服薬管理が出来るようにしている。全職員が共有し安全な服薬管理を心掛けている。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の現在の様子や個々の生活歴をふまえつつ自分らしく過ごして頂ける様支援している。また、家事への参加や園芸、散歩などメリハリある生活ができるような支援も実施している	一人ひとりの持っている能力を把握し役割を持てるようにご支援している。利用者様も役割が持てることを喜びに感じている。		その人が持っている能力を把握し役割を持てるようにご支援している。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関の助言を受けながら感染症対策を万全にしつつ、散歩や家族様との外出などが安心して実施されるような支援を行っている。	外出時には医師との連携を密にして安心した外出が出来るように支援している。		法人の医療機関と連携し安全な外出が出来るように努めている。感染症に留意しながら近隣の公園に花見を予定しています。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的にホーム管理とはなっているが、要望があれば物品を購入できる体制は整えている。			基本的にホーム管理になっています。買い物を楽しめるような場面をおつくりしたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望に応じ、いつでも手紙や電話のやりとりが出来るように支援している。			利用者様のご要望に応じてご支援されています。やりとりが出来るように努めています
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内は、利用者様にとって安全かつ自立した生活が送れるよう環境整備している。季節感のある飾り付けや音楽など居心地の良い環境づくりや臭い対策など生活環境向上委員を中心に取り組んでいる。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感のある飾り付けや音楽など居心地の良い環境づくりや臭い対策など生活環境向上委員を中心に利用者様と一緒に楽しめるようにしています。
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常々、利用者様とのコミュニケーションを大切にし、関わりの中で本人様の意向をかなえられる様にしている。			利用者様とのコミュニケーションを取り関わりの中で本人様の意向を大切にしている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に本人・ご家族様から生活歴や趣味などの情報を収集し、コミュニケーション場面やホーム内行事などで生かされるようにしている。			これまでの生活歴や友人関係を大切にご支援している。

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状況はフロア全体で情報の共有に努め、必要時に随時、ケア方法の検討・変更を行うようにしている。また、健康面では常時医療機関のサポートを受けられる体制がある。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様、一人ひとり状況をスタッフ全員で把握し安心安全に生活を継続できるようにしている。健康面は医療機関が母体なので連携を密にし安心してお過ごし出来ている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様やご家族様から聞いた生活歴や、会話の中でご本人様から出た想いを尊重し、生活習慣や居室内の環境整備（なじみの空間づくり）に努めている。			利用者様一人ひとりの思いを大切にご支援しています。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室においては自宅からの写真や家具・嗜好品などを持ち込んでいただけるようにし、なじみの空間が作れるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居時に本人ご家族と話し合い馴染みの物や大切にされているものを持ち込んでもらい馴染みの空間でお過ごしされている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	四季を感じて頂ける様な外出や行事の企画に心掛けている（近隣の公園の花見・夏井川の花火大会・紅葉狩り等）。アクティビティ委員が中心となり企画運営を行っている。	近隣の公園に花見や紅葉狩り、夏井川の花火大会等の行事計画を立てて季の味わいが出来るように働きかけている		アクティビティ委員が中心となり企画運営を行い外出のきっかけ作りをしている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様の意向や心身機能に応じて家事や行事等に参加して頂いている。			利用者様一人一人の状況を踏まえて役割作りや、ご一緒に楽しめる機会をお作りしている。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で職員は、自分から挨拶や声掛けをするように努めており会話のきっかけ作りをしている。また、自宅で行なってきた家事や趣味についても継続出来るように職員間で共有し、支援している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人が常時寄り添うことで利用者様の活動できる場面を日々の生活の中でご支援できるよう心掛けている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の保育園児が施設の前を散歩ルートにして通るため、利用者はそれを楽しみにしており、窓越しに手を振ったり挨拶をしている。	隣組に加入し回覧板配り等に利用者様をお誘いし地域住民と関りを持てるようにしている。近隣の保育園と交流を保ち散歩ルートにして貰い交流を深めている。		隣組に加入し回覧板配り等に利用者様をお誘いし地域住民と関りを持てるようにしている。近隣の保育園と交流を保ち散歩ルートにして貰い交流を深めている。

49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部評価においての家族様アンケートでは、家族様からは安心を持って頂けているとのお声をいただいている。この声に甘んじることなく利用者様らしい暮らしが遅れるように努めて行く。	今回の第三者評価に、利用者様ご家族様も参加され取り組みや運営内容を知って頂き、内容等を把握でき安心してお任せできるとお話しいただく。	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人ひとりが各利用者様を生活のパートナーとして認識して関りを持ちより良い日々をお過ごしして頂けるようご支援しています。今回の第三者評価に、利用者様ご家族様も参加され取り組みや運営内容を知って頂き、内容等を把握でき安心してお任せできるとお話しいただく。

別紙2

事業所名　グループホームまつの実

作成日：　令和　8年　3月　26日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	感染症の影響が残っており、法人間での連携は密にとれているが、他事業所との交流が積極的にできていない。 （課題）同業者との交流を通じた向上	全職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりをする	1.外部研修への参加 2.他事業所との交流の機会を設ける	12ヶ月
2	36	感染症の心配があり日常的な外出支援にブレーキがかかっている。 （課題）日常的に安全に外出できる	日常的に安全に外出できる対策を立て外出支援をする	行事計画に沿って安全な外出をする 1.近隣の公園へ桜見会（4月上旬）から外出する 2.近隣の散歩から始めていく	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。